

令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人稲泉会

慶泉荘デイサービスセンター

1. 総括

令和5年度も、利用者の有する能力に応じ可能な限り居宅において日常生活が営めるよう生活機能の維持又は向上を目指し、日常生活上の介護等を通して心身機能の維持向上並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めて参りました。

新型コロナウイルス感染症も依然として収まらない状況のなかにおいて、感染症対策を実施し、安心してご利用頂けるよう取り組んでおりましたが、5月には感染者発生により、1週間の停止をせざるを得ない状況がありました。

また、関係する居宅支援事業所との連携を密にし、利用者一人一人に必要なサービスが提供できるよう、昨年度に引き続きメリハリのある活動内容を模索し、グループ活動や個別対応また、地域交流等にて楽しみを持ってご利用頂けるよう努めて参りました。重点目標に掲げた目標稼働数の1日20名の利用には達することはできませんでしたが、18.2名と昨年よりご利用人数が増えた結果となりました。前年比では2名の増となっております。今年度は、利用者様からのご紹介も多くありました。利用については、令和4年度には介護度の改善により利用が出来なくなる等事業の見直しが課題となっており、令和5年4月より通所型サービス（現行相当）の指定となり、受け入れの幅が広がり、ご利用者様の安心に繋げることが出来ました。

満足度調査実施し、5項目の問いに対し、平均4以上（満足度1～5で表記）となり、満足度としては評価頂けたものとなりました。ご意見ご要望等参考にし、より今後の利用を楽しみにして頂けるよう質の向上に向け取り組んで参ります。

今年度も、思いやりと優しさを土台に、職員一人一人が法人のモットー「笑顔に勝る介護なし」を体現し、利用者主体のサービスの向上に努めて参ります。

II. 重点項目

1. 「人権の尊重」
「利用者主体」の推進。
2. 「笑顔に勝る介護なし」
職員の資質向上。利他的志向の助長。
3. 感染対策・防災対策の徹底と業務継続計画の策定。
4. 目標稼働数 1日 20名

III. 各部署における事業報告

職 種 生活相談係

重点目標の成果

1. ケアプランに基づいた適正な通所介護計画を作成し、利用者及び家族の意向と状況把握に努め、在宅での生活が継続できるよう努める。
 - ・ご本人様やご家族様のニーズの引き出しを図り、計画の立案実行に努めた。
2. 稼働率目標達成に向けての在宅支援事業所との連携強化。
 - ・情報共有を行うとともに空き状況の周知を行った。
 - ・新規獲得、スポット利用の受け入れ、複数回利用増また、新たな居宅事業所との繋がりも増えた。
3. 利用者の満足度の向上。
 - ・満足度調査の実施。
 - ・月1回の研修会を継続。職員の資質向上に努め、楽しみを持って、また安心してご利用頂けるよう努めた。

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|------------|---|
| 1 | 相談業務の向上を図る | 利用者、家族の各種相談に応じ、担当ケアマネジャーと連携し、利用者の在宅生活を支え、家族介護の負担軽減に繋がるよう援助を行った。 |
| 2 | 通所介護計画の充実 | 利用者の身体的、精神的な状況を勘案したうえ通所介護計画を作成し、その有する能力に応じた自立支援が行えるよう援助をおこなった。 |
| 3 | 家族との連携 | 利用中の状況を家族と共有し、家族の負担の軽減に向けた声掛けや聞き取り等援助を行った。 |
| 4 | 個人情報の保護 | 利用者の記録、個人情報等部外に漏れないよう情報の管理を徹底した。 |

職 種 介 護 係

重点目標

| |
|--|
| <p>1. 利用者個々のニーズに合わせ、適切な判断のもと安心、安全に過ごし、満足して頂ける援助に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の声に耳を傾け、寄り添う援助を心掛けた。またニーズに応えられるよう職員意識技術向上の為、研修を行った。安心して楽しんで頂ける場所となることに取り組みを行った。 |
|--|

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|----------|---|
| 1 | 利用者主体の援助 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じて頂けるようなイベント・行事を計画し実施することができた。 ・楽しい時間を過ごせるよう地域との交流の機会を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> → ・4月哭声祭り見学 ・6月図書館見学 ・7月平泉駅七夕飾り見学（マルシェ参加） |

| | | |
|---|-------------------|---|
| | | <p>コゼンジアイス購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月フラダンス慰問 ・ 11月平泉町文化祭見学 ・ 12月リンゴ買い ・ 3月文化遺産センター見学 |
| 2 | 職員の資質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回の介護技術、専門知識、感染対策、事故防止等の研修機会を設け、個々の資質向上に努めた。 |
| 3 | 感染対策の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時の検温、聞き取り、手指消毒を行い、安全な利用に繋げることができた。 ・ センター内の定期的な換気、消毒の実施を徹底した。 |
| 4 | 稼働率 1 日 20 名の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ おひとりおひとりに寄り添い、ニーズの実現に楽しみを持ってご利用頂けるよう、個別対応やグループ活動の取り組みを行った。 ・ 広報誌による活動の紹介も継続を継続している。 ・ 過去 5 年の利用稼働数（16.25 名）の昨年度に続き、18.2 名ともっとも多い稼働数となったが、目標の 20 名には至らなかった。 要介護 18.2 名 要支援 2.4 名 |

職 種 看護・機能訓練指導係

重点目標

利用者が利用時に、安心して楽しく過ごすことが出来るように支援する。

重点実施項目

| | 実施項目 | 実施項目の成果 |
|---|---------|---|
| 1 | 健康管理の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用時のバイタルサインチェックを行い、問題がある時は利用中の活動の検討やご家族へ連絡を行うことができた。 ・ 体重測定はショート利用中で測定できない方が毎月数名いた。次年度は毎月実施出来るように検討する。 ・ 利用者には実施されている処置（点眼・塗布・貼 |

| | | |
|---|-----------------|--|
| | | <p>付など) の処置や与薬を確実に実施するために お薬情報を最低6ヵ月毎に提出できるようご家 族にお願いし実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態変化時は家族連絡を行い、適切な処置を 実施した。また利用者を取り巻く多職種と連携 を行い、情報を共有することができた。 |
| 2 | 感染予防の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月は熱中症・脱水予防と誤嚥性肺炎、 令和6年2月は誤嚥性肺炎予防と転倒予防の勉強 を実施し、利用者だけでなく職員の意識を高め ることができた。 ・処置時など一行為一手洗いを確実に実施しでき た。 ・新型コロナやインフルエンザについて職員が統 した対応や行動ができるようにフローチャート 提示した。 |
| 3 | 利用者の身体機能 の維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事前の嚥下体操、転倒予防体操を確実に実施 した。誤嚥が予想される利用者には増粘剤の情 報提供を行った。 |
| 4 | 事故防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の移動時や食事摂取の状態を観察し、職 員間で情報を共有し、転倒による受傷や誤嚥の 事故を未然に防ぐことができた。 |